



きょうかい  
**スポーツ協会だより**  
Nagano Adapted Sports Association



き じ  
**記 事**

- だい かいながのくるま たいかい  
第20回長野車いすマラソン大会
- だい かいぜんこくしょうがいしゃ たいかい だんたいきょうぎ ほくしんえつ とうかい よせんかい  
第23回全国障害者スポーツ大会 団体競技 北信越・東海ブロック予選会
- ちてきしょうがいしゃ きょうぎ  
知的障害者バレーボール競技
- だい かいぜんこくしょうがいしゃ たいかい こじんきょうぎ せんしゅせんこうがっしゅく  
第23回全国障害者スポーツ大会 個人競技 選手選考合宿
- ながのけん しょうかい  
グランドソフトボールと長野県チームの紹介
- しょきゅう しどういんようせいこうしゅうかい  
初級パラスポーツ指導員養成講習会
- さんじょかいいんぼしゅう  
賛助会員募集

2024. 6

vol.57 ごう号

# だい 第20回長野車いすマラソン大会

令和6年4月21日（日）、第20回長野車いすマラソン大会を開催しました。今大会は、招待選手5名を含む37名の選手がスタート地点に立ち、午前8時30分に長野赤十字病院前交差点をスタート。フィニッシュ地点の長野オリンピックスタジアム前へ向け、選手が一斉に走り出しました。

参加いただいた選手の皆さま、大会運営にご尽力いただいた役員・審判・ボランティアの皆さま、沿道で応援をしていただいた皆さま、ありがとうございました。

## ぜんじつうけつけ 前日受付

選手の前日受付は、信州大学工学部キャンパス内で行いました。

駐車場では、レーサーの調整や計測タグの取り付けなど相談しながら行っていました。



## たいかいけっか 大会結果

◆各クラスの優勝者は以下のとおりです。

ひぐち まさゆき  
**樋口 政幸選手** (T34/53/54 男子)

さとう ともき  
**佐藤 友祈選手** (T33/52 男子)

たきむら かずみ  
**瀧村 和美選手** (T34/53/54 女子)

◆各クラスの入賞者は以下の通りです。

### T34/53/54 男子

順位	氏名	県名	記録
1	樋口 政幸	千葉県	0:45:07
2	吉田 高志	大阪府	0:47:20
3	山口 修平	大分県	0:47:47
4	廣道 純	大分県	0:49:32
5	大津 圭介	福岡県	0:49:34
6	佐藤 健	埼玉県	0:50:48
7	用田 竹司	京都府	0:50:52
8	野村 光義	京都府	0:53:38

### T33/52 男子

順位	氏名	県名	記録
1	佐藤 友祈	岡山県	0:51:50
2	服部 周恩	滋賀県	1:11:24

### T34/53/54 女子

順位	氏名	県名	記録
1	瀧村 和美	東京都	1:01:34
2	棚田 優子	富山県	1:06:20
3	増田 汐里	東京都	1:22:52

# ながのくるま たいかい 長野車いすマラソン大会 しゃしんでんかいさい フォトコンテスト&写真展開催

多くの皆さんが、長野車いすマラソン大会についての関心を高め、またパラスポーツや障がいのある人々の社会参加に対する理解を深めるため、フォトコンテストを実施しています。

レースの様子や沿道の応援、ボランティアスタッフとの交流など、車いすマラソン大会に関するものをテーマとした作品を募集し、令和6年4月1日(月)から5月13日(月)の募集期間に33点の優れた作品のご応募をいただきました。ご応募いただいた皆さま、ありがとうございました。

厳正な審査の結果、入賞・入選作品を決定しました。

	氏名	市町村名	題目
最優秀賞	三沢 宏之	長野市	疾走
優秀賞	松野 邦弘	長野市	熱い声援を受けて
	草間 利夫	須坂市	スタート 30 秒前
入選	宮下 正三	長野市	デットヒートファイト!!
	松本 勝磨	長野市	頑張っって……よし行くぞ
	橋井今朝信	長野市	風切る疾走
佳作	三沢 宏之	長野市	記念に一枚
	草間 利夫	須坂市	パパ頑張っってネ!
	山口 主法	長野市	めざせ、ゴール!
	藤澤健太郎	長野市	新緑の中を駆け巡る
	中澤ゆずゆ	長野市	曇り空の下突き進む
	宮本 優惺	長野市	やったー
	竹中 太樹	長野市	最後の瞬間

長野車いすマラソン大会実行委員会では、4会場にてフォトコンテスト写真展を開催しています。日程・展示会場は、下記の通りとなっておりますので、皆さまぜひ会場へお越しください。

日 程	展 示 会 場
令和6年6月 3日(月)～6月11日(火)	長野市役所連絡通路
令和6年6月20日(木)～6月26日(水)	ながの東急シェルシェ 4階～5階階段展示スペース
令和6年7月 1日(月)～7月 5日(金)	長野県庁 1階ロビー
令和6年7月10日(水)～7月17日(水)	長野県障がい者福祉センター「サンアップル」

## 20回連続出場選手の表彰を行いました

20回大会を記念し、第1回大会から連続で出場いただいている5名の選手を表彰いたしました。

20回連続出場ありがとうございます。

平澤 三七 選手(長野市)  
中田 真也 選手(佐久市)  
金児 知哉 選手(長野市)  
青木 浩 選手(山ノ内町)  
樋口 政幸 選手(千葉県)

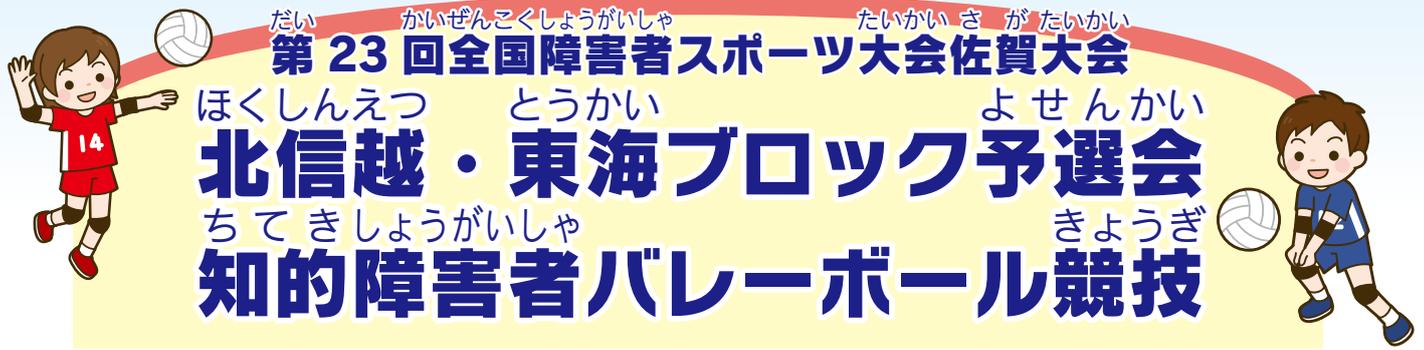
(写真左より)





くるま  
車いすマラソンフォトギャラリー





パラバレーボール委員会 委員長 吉川 豊

令和6年5月4日、新潟県聖籠町市民会館にて行われた第23回全国障害者スポーツ大会佐賀大会 北信越・東海ブロック予選会 知的障害者バレーボール競技に女子チームが参加してきました。

令和5年2月に立ち上げた本チームも1年強の時間をかけ、大会参加までこぎ着けることができました。大会に参加することができた選手は6名と少ないものの、中信地区中心の選手で構成されたチームは大変よく頑張りました。

全4チーム（岐阜県選抜、新潟市、福井県、長野県）出場の中、1回戦昨年度ブロック代表の岐阜県選抜と対戦し、硬さから序盤0-5とリードを許したもののエースのスパイク決定から徐々に調子を上げ、更に安定したサーブ、エース2人の攻撃の効果もあって、25-14、25-9のセットカウント2-0で勝利しました。

続く決勝戦は新潟市との対戦となり、序盤からサーブ、攻撃ともに安定した力を発揮し、25-8、25-7のセットカウント2-0で勝利し、初出場ながら初優勝という結果を残すことができました。

昨年2月のチーム発足以来1年少々の期間で選手たちの成長はめざましく、また勝ちたいという選手の思いも強くこのような成績を残すことができました。選手が6名とけが等があれば棄権というギリギリの中でも選手たちは明るく、自分の役割をしっかりと果たし、それぞれが輝けるものでした。

10月末に行われる第23回全国障害者スポーツ大会佐賀大会に向け、まだまだ若く伸びしろのある選手たちとともに練習を積み、臨んでこようと思っています。

## 選手たちの思い

### エースとセッターの唐澤姉妹

「なんとしても勝って佐賀へ行きたいと思って、ここ数ヶ月やってきました。本当に緊張して固くなってしまいましたが、バレーをやったことのない選手を含めてみんなで頑張った結果が優勝で、とてもうれしいです。」

### 一番のお姉さん渡澤選手

「バレーをやる場がなかったので、このような場を与えてもらえたことがうれしかったです。大会に出て勝ちたいと思ってやってきたので、優勝できてうれしいです。佐賀でも頑張ります。」



だい かいぜんこくしょうがいしゃ たいかい  
**第23回全国障害者スポーツ大会**  
 こじんきょうぎせんしゅせんこうがっしゅく  
**個人競技選手選考合宿**

令和6年5月25日(土)～26日(日)と6月1日(土)～2日(日)に、長野県障がい者福祉センター(長野市)にて、第23回全国障害者スポーツ大会長野県代表個人競技選手選考合宿を行いました。



今年の選考合宿には、陸上、水泳、卓球、アーチェリー、フライングディスク、ボウリングおよびポッチャの全7競技37名の選手が参加しました。

選手は、この4日間で行われた記録測定や生活の様子等の確認を経て、長野県代表選手として決定しました。今年は初めて7月と8月に練習会も行う予定で、10月に佐賀県で開催される全国大会が今から楽しみです。



## 今後の予定

- \* 第23回全国障害者スポーツ大会個人競技選手練習会  
(長野市ほか)  
令和6年7月中1回、8月中1回
- \* 第23回全国障害者スポーツ大会個人競技選手強化練習  
(長野市)  
令和6年10月5日(土)、6日(日)
- \* 第23回全国障害者スポーツ大会(佐賀県)  
令和6年10月24日(木)～29日(火)





# グランドソフトボールと ながのけん 長野県チームの紹介

グランドソフトボールは、視覚障害者の体位向上を目的に、120年前に盲学校で発祥しました。これは、障害者スポーツの草分けとなりました。それが盛んに行われるようになり、各地で大会が開催され、ますます、視覚障害を持つ若い学生のよりどころとなり、健全な心身の育成に大きく寄与しました。

65年前には全国学生大会が開催されるようになり、さらに、50数年前には全国障害者スポーツ大会の前身である全国身体障害者スポーツ大会の正式種

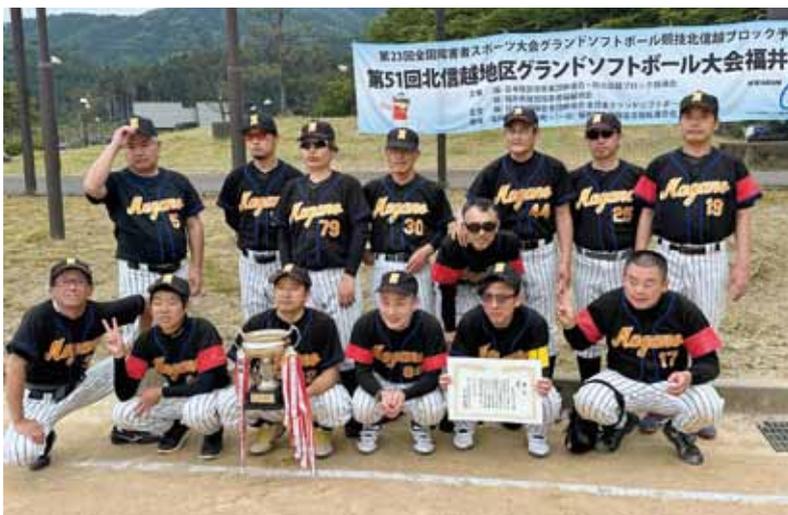
目になり、全国の都道府県にチームが結成され、グランドソフトボールが視覚障害者の人生に浸透していき

ました。グランドソフトボールの基本は、ソフトボールのルールを基に、全盲選手（視力0）と、若干見える弱視選手（視力0.3以下）が協調して行うチームワークを必要とする競技で、複雑なルールの基で安全が最優先された、視覚障害者がハンディなしでできる繊細で緻密そして非常にタフな競技です。

本県のチーム「愛好会」は、多くはベテラン選手のため、お互いに気心が知れているのでチームワークが良く、中部地区ナンバー1の投手を要に守備中心のチームとして勝利してきました。古くは本県の大会「やまびこ国体」では、準優勝、他にも全国大会に10数回出場し、3位を何度も獲得しました。

現在チームは2028年の地元「やまなみ国体」に向けて、選手強化を図っています。通年定期的に継続した練習と、他県チームとの練習試合（北信越・山梨・埼玉・岩手・近畿・愛知・三重等）を通して体位向上と試合感覚の向上を目指しています。そして、毎年開催される北信越大会における優勝の連続記録を更新したうえ、さらに最強の壁である東海地区との中部代表を懸けた代表戦で勝利し、全国大会出場を目指しています。

長野県グランドソフトボールチーム監督 本多 剛



# しよきゅう しどういんようせいこうしゅうかい かいさい 初級パラスポーツ指導員養成講習会 開催

公益財団法人日本パラスポーツ協会公認の「初級パラスポーツ指導員養成講習会」を開催します。

- ・日 時 南信会場 令和6年8月3日(土)、4日(日)、10日(土)、11日(日)の4日間  
北信会場 令和6年12月7日(土)、8日(日)、14日(土)、15日(日)の4日間
- ・場 所 南信会場 宮田村村民会館 宮田村体育センター  
北信会場 長野県障がい者福祉センターサンアップル
- ・受講対象者 (次の要件の全てを満たす者)
  - (1) 原則として、県内在住の者(学生については、卒業後、県内で活動できる者に限る)
  - (2) 令和6年4月1日現在の年齢が18歳以上の者
  - (3) 南信会場4日間もしくは北信会場4日間いずれか全ての受講ができる者
  - (4) パラスポーツの指導に関わっている者及び関心があり、今後地域でパラスポーツの普及・指導に貢献する意欲のある者
  - (5) 「競技規則」の理解が可能であり、障がい者への運動指導ができる者
- ・応募締切 南信会場 令和6年7月16日(火)、北信会場 令和6年11月18日(月)
- ・詳細は、協会ホームページ、Instagramをご覧ください。

## きょうかい さんじよかいいん ほしゅう 協会では賛助会員を募集しています

当協会は、パラスポーツの振興を通じて障がいのある方の健康増進や社会参加を促進し、障がいの有無にかかわらず、人格と個性を尊重し合う共生社会をめざして活動を行っています。

皆様の暖かいご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。



チアダンスの様子



ウィンターキャンプの様子



※令和5年度はチアダンスやウィンターキャンプ等を行いました。子供たちの笑顔が素敵でした。

### 個人会員

1口

3,000円/年

### 法人会員

1口

10,000円/年

一口以上お願いいたします。

※賛助会員には当協会の広報誌をお送りいたします。

※当協会広報誌やホームページにご芳名や企業名を掲載いたします。(ご希望による)

※当協会のホームページからも申込み可能です。

※当協会に対する賛助会費は、個人、法人それぞれに税法上の優遇措置が適用されます。

(ご不明な点はお問い合わせください)